



木下 淳 議員

心に残る60周年記念事業を

豊かな自然や文化を継承し、未来に向けて発信する

問

昭和30年に合併し、今年で60周年を迎える。合併当時は、東しの従業員も多く、松前商店街も賑やかで、新立、本村も人口が多く活気に満ちていた。時代の流れとともに、町の中心が役場周辺となり、時代の移り変わり

を実感しているところである。記念すべき合併60周年にあたり、心に残る記念事業を期待したいものだが、どのような記念事業を考えているのか。

総務課長

記念事業は、「松前町

町制施行60周年記念事業実行委員会」を設置し検討した。
4月28日に記念式典を開催し、その後、プレミアム付商品券発行、NHK全国放送公開番組、サイクルフェスタ、義農精神を繋ぐワークショップ事業を予定している。

町長選で色々な動きがあるが今後の政策への影響は

4期目を全うすることと専念する

問

昨年12月26日に東古泉と神崎推薦の議員が町長室を訪問。「次期町長選は現県議を応援します。神崎の議員より、次は議員を引きます。町長も60周年を機に考えては」と話をしたようだ。また、昨年末に県議か

ら「町議か新人のどちらかを自民党松前支部で推薦し、新しい県議のもとに私が町長選の推薦を受けることになっている」との話があった。これらの動きの中で、今後の政策に影響があるか伺いたい。

町長

個々の動き、内容への言及は差し控える。「見える、わかる、クリーン」を基本に、誰もが住んでよかった、住みたいと思える、笑顔あふれるライフタウン・まさきに全力で取り組み、4期目を全うすることに専念する。